

Oguchi Shakyō

2019
10
月号

おおぐち社協だより 年4回発行(4月・7月・10月・1月)第108号



上小口区ふれあいサロン“散歩道” (令和元年6月15日 上小口学習等供用施設)

CONTENTS

- ② ★地域の絆ふれあいサロン
- ④ ★しゃきょうSOSおたすけ隊サービス
- ⑤ ★赤い羽根共同募金
- ⑥ ★大口町障がい者スポーツ大会
町内福祉施設見学ツアー
- ⑦ ★赤い羽根共同募金が使われています
- ⑧ ★平成30年度社協決算報告
- ⑨ ★平成30年度社協事業報告
- ⑩ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑪ ★介護豆知識
- ⑫ ★ボランティア情報局
- ⑯ ★くらしのおたすけ講座・かんたん料理教室
平和学習会「語り部の会」
善意だより
- ⑯ ★社協、災害のことやってます
- ⑯ ★身体障がい者日帰り旅行
西尾張ブロックボランティアフェスティバル
介護者のつどい
心配ごと相談所

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休)8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階
ホームページ <http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
Eメール chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



この広報誌は大口町社会福祉協議会の会費を活用してつくられています。



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

つかいみちの情報公開は [赤い羽根データベースはねっと](#) 検索

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります



毎年、共同募金運動に多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年度も、区長さんを通じて各家庭に寄付をお願いする「戸別募金」、企業や法人に寄付をお願いする「職域募金」「法人募金」、町内小中学校での「学校募金」、スーパー店頭での「街頭募金」などにより募金活動を実施いたします。

皆様から寄せられた募金の約88%は、大口町の福祉とまちづくりに役立てられており、残りの約12%は愛知県内の広域的な活動や各地の災害支援に活用されています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会 会長 村田貞俊

募金のつかいみちの一部をご紹介します

地 域福祉のために



ボランティア養成講座

高 齢者の方のために



ひとり暮らしの方へおせち料理配布

障 がいのある方のために



障がい者スポーツ大会

子 どもたちのために



小中学校の福祉実践教室



ふれあいサロン



オレンジカフェ・大口



障がい者スポーツ備品の貸出



子育てサロンまむ*まむ

社会福祉協議会をはじめ、募金の配分を受けようとする法人や団体は、あらかじめ寄付者の方々に納得していただけるようなつかいみちとなる「配分計画」を立て、都道府県の配分委員会による審査を経て、配分先が決定します。共同募金の寄付金は、無計画に集めて使われるのではなく、配分計画の金額を「目標額」として募金活動が行われるため、「計画募金」と呼ばれています。

令和元年度 共同募金目標額

3,650,000円

平成30年度 実績額

3,627,602円



お問い合わせは 大口町共同募金委員会(大口町社会福祉協議会内)

大口町伝右一丁目35番地(健康文化センター2階) TEL 94-0060 FAX 94-0059

しゃきょう SOS おたすけ隊サービス

ちょっと誰かに
たすけて欲しいこと、
お手伝いします!



平成30年10月にスタートした、住民のたすけあいによる生活支援「おたすけ隊サービス」。

令和元年8月現在、利用会員の登録者は29名、協力会員は20名。社協のコーディネートで、延べ80回以上のサービスが行われています。

あなたも、ちょっとたすけて欲しいお手伝いを頼んでみませんか?

○会員の対象 (詳しくは社協までお問合せください)

種類	対象者
利用会員	大口町にお住まいの高齢者、障がい者などの方で、 ・ひとり暮らしの方 ・高齢者だけで生活している方 ・同居家族があっても、手伝ってもらうことができない方
協力会員	健康でおたすけ隊の活動に協力いただける地域住民の方 (大口町内・町外は問いません)

○利用料 (社協発行のチケットで利用料を支払うチケット制です)

区分	利用時間数	利用料
サービス	1回 20分以上80分以内	協力会員1人につき 20分 200円
短時間サービス (ごみ出しなど)	1回 10分以内	1回 100円

○サービスの内容



ゴミ出し

協力会員が、利用会員のご自宅に訪問して行う在宅サービスです。住民どうしのたすけあいで、ちょっとしたお手伝いをします。

(写真は一例です。詳しくは社協までお問合せください)



床や風呂
掃除



電球交換



台所の
ふき掃除



買い物

おたすけ隊のご利用の相談・お問合せは、お気軽に社協までどうぞ!

電話 0587-94-0060 FAX 0587-94-0059



赤い羽根共同募金が使われている事業のご紹介

7/2 子育てサロン まむ*まむ 七夕イベントを開催



子育てサロンまむ*まむでは、年に数回、季節に合わせて様々なイベントを企画しています。今回のテーマは『七夕』。

お母さんたちが笹を使って七夕かざりを作りました。お子さんのすこやかな成長を願い、それぞれ短冊に想いを込めます。

子育てサロンまむ*まむは、ママたちの集まる場所。誰でも参加でき、出入りも自由です。お子さんと一緒に、またとなくした時間を満喫しませんか?

PICK UP 大口町との共同事業 米寿のお祝い品贈呈



町内在住で、在宅の満88歳を迎える方を対象として、敬老お祝いの品と、町長と社協会長連名のメッセージカード、絵手紙をお送りしています。

カードには、お祝いの言葉と「これからもお体を大切に、心おだやかにお過ごしください」というお祈り申し上げます。」とのメッセージが添えられています。

赤い羽根共同募金に
皆様のあたたかいご協力を
お願い申し上げます



8/3 ひとり親家庭 夏休み日帰り旅行



今年は17家族44名の親子が参加され、大阪府のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ行きました。

天候に恵まれ、厳しい暑さの中での開催となりましたが、お子さんは皆、元気いっぱいに過ごされました。

参加されたお子さんからは、「暑かったけど、たのしかった!」お母さんからは、「毎年この企画を楽しみに仕事を頑張っています」、「普段は子どもとゆっくり過ごすことができないので、家族でいっぱい笑いました」との声が多数ありました。

8/16 ▼ 8/23 大口中学校JVCの生徒たちが施設で 夏休み福祉体験



大口中学校JVC(ボランティア委員会)は「夏休み福祉体験」に参加し、延72名の生徒が町内保育園や児童センター、高齢者施設でボランティア活動を体験しました。

これは、JVCの活動を社協が推進する青少年向けの福祉体験事業にあわせて実施しているもので、JVCの生徒たちが、福祉施設を利用する子どもや大人と交流を図りながら、福祉を学んでいく機会を提供するものです。

写真は大口社協デイサービスでの体験の様子。この日はご利用者様と一緒にビーズストラップを作りました。

6/8 第35回 大口町障がい者スポーツ大会

中央公民館集会室で障がい者スポーツ大会を開催しました。

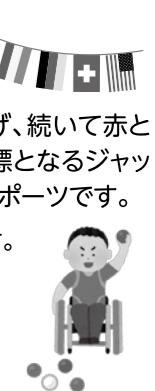
身体障害者福祉協会と心身障害児(者)親の会の皆さんを中心に、来賓、民委員・児童委員、ボランティア、パフォーマンス団体のみなさん、運営スタッフなど総勢260名が参加。楽しい時間を分かち合いました。



パラリンピック公式種目である ボッチャを体験しました

最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げたり、転がしたりして、目標となるジャックボールにいかに多くのボールを近づけるかを競うスポーツです。

社協では、障がい者スポーツ用備品の貸出を行っています。
※使用料は無料ですが、貸出には条件があります。



8/8 今年で6年目! 町内福祉施設見学ツアー



Kライン・ケアレジデンス大口玄関前

8月8日、小学生を含む参加者15名が車に乗って町内をぐるっとめぐり、14の施設を見学しました。

今年で6年目になる見学ツアー。以前はバスに乗って外観を見学していましたが、今年度より移動手段を乗用車に変更しました。

これまで大きなバスが停められず、施設の中まで見学できなかったところも、見学させていただけたことになりました。

今年は初の施設内見学先が1か所わり、何度参加しても新しい発見のあるツアーとなっています!

★施設内を見学した3施設をご紹介★

有料老人ホーム、ショートステイ等 太郎と花子



各階の居室を見学! 参加者の皆さんから料金や設備についての質問が後を絶ちませんでした。

高齢者デイサービス等 わたぼうし



室内ではリハビリ体験、屋外では車いす体験など…内容が盛りだくさん! 家庭的な雰囲気が素敵でした。

有料老人ホーム、高齢者デイサービス等 Kライン・ケアレジデンス大口



この日のお昼のメインディッシュは、釜飯風丂ぶり!
居室のほか、お風呂やデイサービスも見学しました。栄養バランスが考慮された給食はとても美味しかったです。

平成30年度 社協事業報告

去る令和元年5月30日(木)に社会福祉協議会理事会、6月18日(火)に社会福祉協議会評議員会が開催され、平成30年度の事業報告と決算報告が承認されました。

なお、平成30年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は、本会公式ホームページで公開しております。窓口で閲覧希望の方は、本会までお申出下さい。

理事会・評議員会の開催

- 理事会
 - 第1回 平成30年5月15日開催
 - 第2回 5月29日開催
 - 第3回 9月27日開催
 - 第4回 平成31年3月15日開催
- 評議員会
 - 第1回 平成30年5月29日開催
 - 第2回 10月10日開催

社協会員募集

●一般・賛助会員	4,746件
●法人会員	97件
●その他	94件
●会費合計金額	3,060,650円

広報・啓発活動

- 「おおぐち社協だより」を4月、7月、10月、1月の計4回発行
- ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力の働きかけを実施
- 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催
(スタンプラリーエクスカーション者 474名)

ボランティアセンター

- 夏休みボランティア出前講座の実施
(参加人数 合計131名)

場所	月日	内容
西児童センター	8月10日	災害救援ボランティア
北児童センター	8月17日	おもちゃ図書館さくら
南児童センター	8月23日	レクリエーションボランティアここのね

●ボランティア養成講座の実施

- ①手話ボランティア養成講座(全12回 参加者数 延147名)
- ②レクリエーションボランティアスキルアップ研修(3月20日 参加者数 7名)

③傾聴ボランティアスキルアップ研修会

- (3月22日 参加者数 13名)
- ボランティア研修会の実施
ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催
- 平成30年7月13日(参加者数 29名)
- ボランティア保険加入及び事故時等の事務
ボランティア活動保険加入者数
団体 52団体(858名)個人 8名
総加入者数 866名
(男性322名 女性543名)
- 事故件数 0件
- ボランティア派遣を調整
相談10件、派遣8件
うち、学校からの依頼によるボランティア派遣 1件(尾北看護専門の講義に高齢者疑似体験うさぎとかめを講師として派遣)
- 母子家庭等に対する「母子父子自立支援相談」を開設
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈(14件)

児童福祉

- 町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進
(参加児童・生徒数 延1,177名)
- 子育て支援サークルの活動支援
- おもちゃ病院「おおぐち」の支援
- 青少年等ボランティア福祉体験学習事業の実施協力
(大口中学校JVC参加生徒数 延81名)
- 民生委員児童委員が行うドアノックイング事業の実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント
(5ヶ月訪問 244名、1歳訪問 254名)
- 福祉施設見学バスツアーを開催

高齢者福祉

- 85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯に対し、大口町水彩画クラブ、民生委員の協力により、おせち料理配布事業を実施
平成30年12月30日
(配布数 61世帯)
- 満88歳の米寿の方に対し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈
(配布数 77名)
- 介護者向け情報『介護豆知識』を社協により掲載
- 認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援
(参加者数 延349名)

- 大口町高齢者軽度生活援助事業(ホームヘルパー)、大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)、大口町はつらつ健康体操事業(いきいき教室)を受託の受託

障がい児者福祉

- 第34回大口町障がい者スポーツ大会の実施
(6月9日 参加者数 298名)
- 重度身体障がい者日帰り旅行の実施
(10月19日 参加者数 15名)
- おもちゃ図書館さくらの活動支援
- 大口町障がい者等地域生活支援事業(移動支援事業)の受託
- 「フリースペースれんげそう」の運営支援

母子父子福祉

- ひとり親家庭日帰り旅行の実施
(8月4日 参加者数 16家族41名)
- 母子家庭等に対する「母子父子自立支援相談」を開設
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈(14件)

ふれあいサロン

- サロン設立初年度の備品助成
- サロン開催実績回数(上限48回)に対し助成
- サロンに対する行事保険の加入
- サロン活動で必要な備品の貸出
- サロンのPRや広報等ちらしを作成
- 社協の支援する地域サロン、テーマ型サロンの運営関係者が集い、情報交換を行う「ふれあいサロン連絡会」を実施
(3月28日 参加者数 15サロン25名)

サロン名	参加延人数
外坪区ほっこり	1,020名
大屋敷新田地区いつぶく茶屋	468名
萩島地区茶々会	123名
サロンさつき	2,800名
元気会	209名
大屋敷区にこにこ	294名
河北陽だまり	597名
替地ふれあいサロン	103名
豊田どんぐりころころ	793名
フリースペースれんげそう	342名
忘れな草の会	332名
傾聴サロン笑桜会	138名
子育てサロンまむ*まむ	834名
オレンジカフェ・大口	349名
青空あかりサロン(平成30年度新規)	75名
合計	8,477名

福祉関係団体の育成・助成

- 大口町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、大口しらゆり会への助成

共同募金事業

- 共同募金運動を実施
- ・赤い羽根共同募金実績額
3,485,555円
- ・歳末たすけあい募金実績額
142,047円

- 共同募金配分金事業の推進と充実
- 募金機能付自動販売機を健康文化センター1階、軽費老人ホーム一期会場1階に設置
- 災害復興義援金の募集・送金を実施(送金額合計 978,935円)
- 赤い羽根共同募金バトンリレーを東久株式会社で実施

貸付事業

- 生活福祉資金貸付制度の窓口業務
(相談件数18件)
- 貸付状況 20件
- 県ぐらし資金貸付の窓口業務
貸付状況 7件
- 町ぐらし資金貸付
貸付状況 32件
- 緊急一時支援
生活困窮者への緊急食糧支援として、フードバンクにより対応
支援件数 13件

相談事業

- 心配ごと相談所の開設
(相談者数 延37件)
- 総合福祉相談の窓口常設
(相談者数7件、利用状況 延729件)

日常生活自立支援事業

- 福祉サービス利用に関する相談、日常的な金銭管理サービス、書類や通帳等の預かりサービス
(相談8件、利用状況 延1,309件)

貸出事業

- わたがし機、ポップコーン機、松葉杖、福祉車両、車いす等の貸出サービス(総貸出件数 174件)

在宅福祉サービス3事業所の経営

- 大口社協居宅介護支援事業所
介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合
- 大口社協訪問介護事業所
介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、社協独自
- 大口社協デイサービスセンター
介護、介護予防・日常生活支援総合、社協独自

防災・災害事業

- 大口町防災啓発事業を受託し、防災講演会を開催(参加者数 111名)
- ・家具転倒防止講座を開催(参加者数 14名)
- 地域の防災訓練への参加・協力をし、災害用トイレのPRを実施
- ・北地域自治組織 避難・防災訓練(10月29日)
- ・大屋敷地区 防災対策講話(11月25日)
- 平成30年7月豪雨災害被災地支援ボランティアバスによる被災地復興支援活動に職員を1名派遣

生活支援体制整備事業

- 第2層協議体(北地域)生活支援コーディネーターの受託 活動件数 168件
(会議・研修等を含む)
- ふれあいサロン立ち上げ支援
・垣田区、上小口区のサロン立ち上げの相談、サロンボランティア募集等
- 地域包括ケアシステムの啓発
・北地域福祉講座の講話、おおぐち社協だより第102号~104号記事掲載
- ふれあいサロンマップの作成

- 住民参加型の生活支援サービス「おたすけ隊」※平成30年10月開始
・生活支援おたすけ隊研修 2回(参加者数 延べ27名)
- ・協力会員説明会 1回
- ・利用会員 14世帯20名
- ・協力会員 20名
(いずれも平成31年3月末現在)
- ・利用相談件数 28件
- ・協力会員活動件数 延べ40件

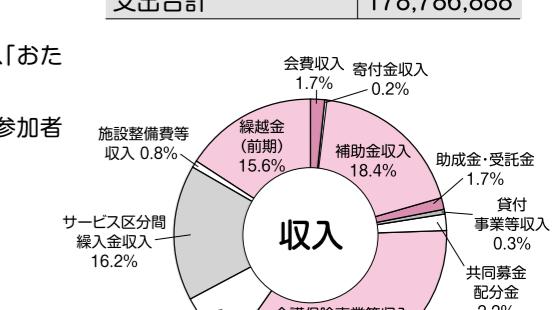
福祉関連事業

- 大口町表彰式を開催
・社協会長表彰 1名
・社協会長感謝 1名
- 愛知県社会福祉大会
・県社協会長表彰 1団体
・県共募会長感謝 5団体

平成30年度 社協決算報告

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,060,650
寄付金収入	401,511
補助金	33,417,000
助成金・受託金	2,769,633
貸付事業等収入	587,100
共同募金配分金	3,866,625
介護保険事業等収入	62,982,399
支援費等利用料収入	13,524,890
サービス区分間繰入金収入	28,625,702
施設整備費等収入	1,505,000
継越金(前期)	28,046,378
収入合計	178,786,888

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	38,081,921
企画・広報事業	808,805
地域福祉推進事業	1,008,205
資金貸付事業	306,178
心配ごと・総合福祉相談・福祉サービス利用援助事業	664,779
共同募金配分金事業	4,265,619
ボランティアセンター活動事業	456,211
居宅介護等事業	21,623,748
老人デイサービス事業	32,592,865
居宅介護支援事業	13,622,464
介護予防事業	298,938
生活支援体制整備事業	998,553
サービス区分間繰入金支出	28,253,542
施設整備費等支出	5,304,244
当期末継越金	30,500,816
支出合計	178,786,888



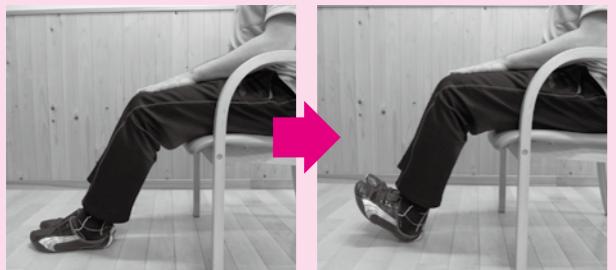


歳を重ねると、転倒のリスクが高くなります。その転倒を予防するためには、足腰の筋力が必要となります。今回は、転倒予防の体操を4つ紹介したいと思います。1日10分程度(たまにはサボってもいいですよ)でよいので、継続することが予防として大切なことです。

転倒予防の体操

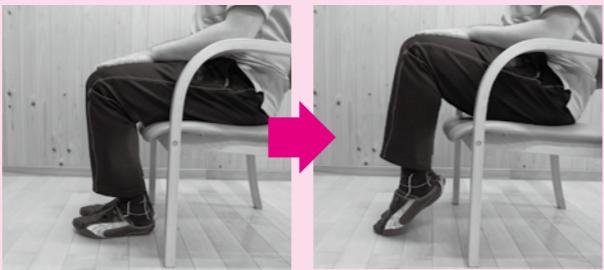
- 1 足を少し前に出し、つま先を上げ下げする。**

10~20回を3セット
(すねの周りの筋肉を鍛えます)



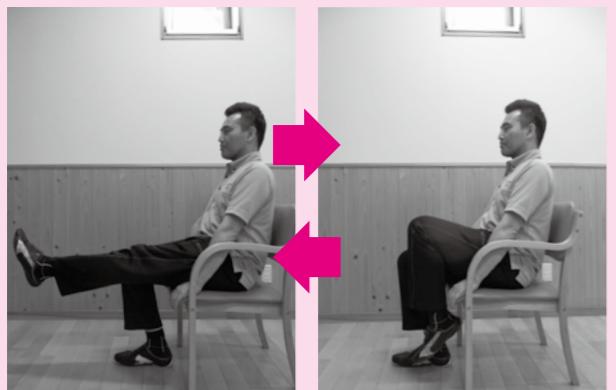
- 2 足を引き、かかとを上げ下げする。**

10~20回を3セット
(ふくらはぎの筋肉を鍛えます)



- 3 片足を水平にのばした状態から、床に足をつけて下ろし、再び水平にのばして止める。**

左右それぞれ10回を3セット
(太ももの筋肉を鍛えます)
※両手は椅子の座面を持って行いましょう。



- 4 5つ数えながらひざを胸の辺りまでゆっくり上げ、また5つ数えながらゆっくりと戻す。**

左右それぞれ10回を3セット
(股関節の筋肉を鍛えます)
※両手は椅子の座面を持って行いましょう。



【編集】大口町NPO登録団体
「まみーぽけっと」
【HP】<http://www.geocities.jp/mammpocket2003/>

子どもを一時的に預かって欲しいとき、ありますよね。近くに身内がいなかったり、引っ越しして間がなくて、まだ頼れる友達がいなかったり…。そんな時、行政では次のような事業を行っています。

大口中保育園一時預かり事業

- (1)特 定 保 育…保護者の就労形態により、家庭における保育が週3日程度で継続的に保育が困難となる児童に対する保育
- (2)緊 急 保 育…保護者の傷病又は冠婚葬祭等により、緊急かつ一時的に保育を必要とする児童に対する保育
- (3)育児リフレッシュ保育…保護者の育児等に伴う心理的又は肉体的負担を解消する等の私的な理由により、一時的に保育が必要となる児童に対する保育

★対象 町内の満1歳から就学前児童(病児・病後児不可)

★場所 大口中保育園

★人 数 一日あたり5人以内

★日 数 週3日程度とし、1ヶ月につき14日まで

★時 間 月曜日から金曜日の午前8時30分
から午後4時30分まで

★申込方法

原則として利用日の前月1日から一週間前まで

★料 金 (表は児童1人当たり)

児童区分	利 用 料			給食費
	1時間当たり	4時間	8時間	
満1・2歳児	600円	2,000円	3,000円	200円
3歳児以上	500円	1,500円	2,500円	200円

申込場所 大口中保育園 Tel.95-2862

大口町 すぐすぐサポート

「仕事と育児の両立のために」を目標に、「子育てのお手伝いをしたい」「子育ての手助けをして欲しい」と思っている方が会員登録をし、お互いに助け合いながら、仕事と育児を両立できる環境づくりを支援する制度です。

★援助の内容…次に該当する場合、お子さんを預かります。

・保育園・幼稚園・児童クラブ等の終了後

・冠婚葬祭に出席する場合

・資格取得のために出かける場合

・お子さんが病気の回復期等、軽度の病気の場合

・リフレッシュしたい場合

＊保育園・幼稚園・児童クラブ等まで送迎もおこないます。

★利用時間 7:00~20:00

★利用料金 7:00~8:00・18:00~20:00・土・日・祝日700円／1時間、

8:00~18:00 600円／1時間

★対象年齢 0歳から小学6年生

★活動場所 原則、援助会員の自宅

★会員登録 援助会員…大口町に在住し、育児のお手伝いをしたい方で、年齢60歳くらいまでの方

依頼会員…大口町に在住し、育児の手助けをして欲しい方

*援助会員と依頼会員の両方を兼ねることも出来ます。



連絡先 大口北児童センター Tel.95-7141

災害救援ボランティア

毎月第3土曜日午前9時30分から12時まで、
健康文化センターボランティア室にて活動

8月21日(水)、南児童センターにて、80人近い参加者でおこなわれました。災害時に役立つ「もやい結び」、新聞紙で作る簡単スリッパ、実際の避難の仕方、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方、などをおこないました。



三角巾をひろげてくださいね

いざというときのために!



「ロープなんでこんなことになるの~?」「もやい結びは難しいね。順番に教えるね」

地震のとき、机がないこともあるからね。しっかりゲンゴ虫ポーズ。



手話サークルコスモス

毎週木曜日午前10時から12時まで、
健康文化センターボランティア室にて活動



「うさぎは手話でどうやるの?」「うさぎは手のひらを後ろだよ。犬とは違うからね」



新メンバーも入りました~。



よく見てね。こうやるんだよ。

レクリエーションボランティアここね

奇数月第3水曜日
午後1時30分から3時まで、
健康文化センター4階和室にて活動

8月26日(月)西児童センターにて、70人の参加者でおこなわれました。手作りいろいろカルタ、気功を取り入れた武術遊び、牛乳パックで作った輪を積み上げていく「ツムツムタワー」と盛りだくさんでした。



この大きなカルタの裏には段ボールが張ってあるから取りやすいよ。



これは、武術遊びのひとつです。寝てしまいそうですね~。



これからも、いろいろなレクリエーションをお届けしたいと思います。



これ、牛乳パックで作ってるよ。家でも作れるじゃん!



ボランティア出前講座

～今年もたくさんのお子様たちと出会いました～



大口町ボランティア連絡協議会 & ボランティアセンター 合同研修会

7月12日(金)、大口町ボランティア連絡協議会とボランティアセンターの合同研修会が、愛知県社会福祉協議会にておこなわれました。今回は「ボランティアの力をつけよう そして仲間を増やそう」をテーマに、今、求められるボランティア活動について、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長 鈴木 盈宏氏にご講演いただきました。



ボランティア活動を行うには「健康・円満・ゆとり」の3つがそろうといいです。

どんな気持ちでボランティアに参加しても、結果が良ければ、続けていけば良いと思います。

ボランティア活動が自己満足になっていないか、手段方法が目標目的になっていないか、活動の振り返りも行いましょう。

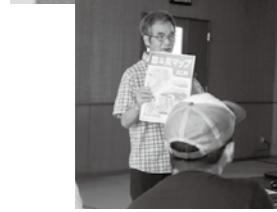
リーダーは黒子に徹し、現状把握とコーディネーター力を養い、仲間を信じて挑戦しましょう。メンバーの多様性を尊重し、その役割分担が適正であり、チャレンジ精神を持つことが大事です。

他人を変えることは難しいので、上手くいかないことがあれば自分を変えていきましょう。



参加者からは「募金活動を通して、女子高生の気持ちが変わっていく話を聞き、涙が止まらなくなったり」「自分が行っているボランティア活動を見返してみたい」などの声があがりました。

社協、災害のこともやっています。



プレッパーとは?

準備するという意味である「Prepare」から来た造語で、来るべき災害に対して準備をしている人たちのこと。

災害ボランティアコーディネーター養成講座 実践編

10月19日(土)9時から北小学校で、「第5回北地域避難・防災訓練」が開催されます。社協も参加し、9月スタートの養成講座の実践編として、ボランティアのみなさんとともに、災害ボランティアセンターのPR活動や災害用ポリ袋トイレの作り方講座を行います。どうぞお越しください!



「2011年3月11日」から生まれたつながり ～大口町のひとたちと東北～

歴史民俗資料館と企画展を共催

社協は、東日本大震災の復興支援として、災害ボランティアの派遣拠点を岩手県遠野市に設置したご縁から、その後も東北の人たちと交流を続けています。

7月から9月にかけて、まちねっと大口の企画による都市間交流サポート事業として、東北の人たちとの交流をテーマに、歴史民俗資料館と社協が企画展を共催しました。

また9月1日には、企画関連イベントで、大口社協と遠野市みなさんとの復興支援と交流を報告しました。

「社協だからできることは何か」を考え、震災の復興支援活動で生まれた縁を絆に。これからも、次世代を担う子どもたちにも縁を伝え続けます。

災害時に起きる問題を知ってください! 地域で災害対策の出前講座

社協は、大口町の災害時には、ボランティア派遣拠点として災害ボランティアセンターを運営する役割があり、日頃からボランティアのみなさんとともに、災害に関する出前講座やPR活動、訓練などを行っています。

5月26日、ごみゼロ運動後の下小口学共で、下小口区長の田中将弘さんが「災害のチチプレッパーになりましょう!」と呼びかけ、災害の備えを学ぶ講座が開かれました。

災害救援ボランティアが家具転倒防止や食料備蓄などを紹介、社協職員が災害用ポリ袋トイレの作り方を実演。60名以上の下小口区民のみなさんが参加しました。

プレッパーとは?

準備するという意味である「Prepare」から来た造語で、来るべき災害に対して準備をしている人たちのこと。



くらしのおたすけ講座

かんたん料理教室～夏編

8月29日、健康文化センターの栄養実習室で料理教室を開催し、男性を中心に14名が参加しました。

健康生きがい課の管理栄養士さんの指導で、今回は「トマトとツナのさっぱりごはん」「焼きねぎとり」「なすとタコのマリネ」のかんたん栄養メニューを調理しました。

参加者どうしのグループ交流会もあり、「最後までこのメンバーで参加したいです!」との意気込みも。

毎日の食事の準備は大変なもの。いかにかんたんに、栄養のとれる食事にするか?を楽しく学んでいます。

参加者
募集



くらしのおたすけ講座

かんたん料理教室～秋編

11月29日(金) 10:00～13:00

健康文化センター1階 栄養実習室
町内在住の単身高齢者、高齢者世帯、介護者の方など
20名(※先着順)
500円
エプロン、三角巾(あれば)、ふきん2枚
大口町社会福祉協議会の窓口・電話・ファックスで受け付けます。 電話 94-0060 FAX 94-0059

管理栄養士さんより
メッセージ

今回は、お手軽食材を使って、自分で作れる秋メニューです。
気軽に調理と会食を楽しんでいただけます。
男女問わず歓迎です!



8/21

戦争遺族から中学生へ平和のメッセージ 平和学習会「語り部の会」

大口町遺族会は、大口町平和祈念式とあわせて町民会館で行う大口中学校平和学習会「語り部の会」(中学2年生対象)に講師を派遣しており、社協が協力しています。

今回は、大口町在住で、大口町遺族会会員の福富 錄寿(ふくとみ ろくじゅ)さんが講師となり、昭和20年、一宮市街地の80%が焼失し、727名の死者を出した一宮空襲について語りました。

当時10代の消防士だった福富さんは、空襲の恐ろしさとむごさを今でもはっきりと記憶しています。

「戦争という過ちを二度と繰り返さないことが、犠牲者の一番の供養になる。」と話す福富さん。時代の経過とともに風化が進む戦争の記憶を、いつの時代までも語り継いでいくことの大切さ、平和の尊さを生徒たちに強調しました。

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(6月1日～8月31日 取扱い分)

下小口区盆おどり実行委員会 様…… 35,000円
大口町ボランティア連絡協議会・ボランティアセンター運営委員会 様…………… 2,100円
藤田 尚男 様…………… 未使用靴下
大口町身体障害者福祉協会 様…未使用はがき60枚
匿名 …… 据置型拡大読書器クリアビュープラス

令和元年度 西尾張ブロック ボランティアフェスティバル

「笑顔」「喜び」「感動」発見フェスティバル
～みつけよう、今の私のできること～

- 日 時 令和元年12月1日(日)
10時30分～15時30分
- 場 所 エナジーサポートアリーナ(犬山市体育館)
犬山市大字羽黒字竹ノ腰17番地2
※体育館内は土足厳禁。室内履きをご持参ください。
※駐車場については複数ありますので、詳細は下記までお問合せください。
- 主 催 西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会
西尾張ブロック14市町村社会福祉協議会
- 問合せ 社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059

一般の方もお楽しみいただけます!

- ★各種ステージ発表
- ★ボランティアブース出展コーナー
- ★アリーナイベント…障がい者スポーツや
昭和のあそび体験等
- ★マルシェ…福祉施設やボランティア、
市民活動団体が出店
- ★交流スペース

身体障がい者日帰り旅行 ～参加者募集～

- 日 時 10月21日(月)
- 行 き 先 紅葉の伊吹山と奥の細道むすびの地記念館
- 対 象 者 身体障害者手帳1級・2級をお持ちの方と介護者(内部疾患の方を除く)及び大口町身体障害者福祉協会会員
- 交通手段 大型リフト付き観光バス(車いすご利用の方も安心してお出かけいただけます)
- 募集定員 20名(定員になり次第締め切ります)
- 参 加 費 1人3,000円
- 申 込 10月11日(金)締切
- 申 込 先 社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059

令和元年10月～12月分 心配ごと相談所開設日程

月	内容	母子自立支援相談 女性相談 10:00～15:30	女性相談 10:00～15:30
10月	2日(水)	16日(水)	
11月	6日(水)	20日(水)	
12月	4日(水)	18日(水)	

月	内容	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30～16:30	※弁護士相談は 完全予約制です
10月	23日(水)		
11月	27日(水)		
12月	25日(水)		

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

予約受付 社会福祉協議会 電話 94-0060

介護者のつどい 参加者募集

介護者どうしで悩み事をお話ししたり、情報交換したりできる憩いの場です。
今年も介護者の方がリフレッシュできるよう、アロママッサージと茶話会を企画しました。
香りのよいアロマオイルを使ったマッサージや、ハーブティーを飲んで「ほっ」と一息つきませんか?



講師による
マッサージを
予定しています!

■日 時 令和元年11月14日(木) 13:30～15:30

- 場 所 大口町生きがい活動支援センター
(大口町伝右一丁目47番地)
- 参 加 費 500円(お茶菓子付き、講座材料費込み)
- 対 象 者 在宅介護をしている方
- 募集定員 15名
- 内 容 アロママッサージと茶話会
- 講 師 一般社団法人 アロマハンドトリートメント協会
チーム Fika(フィーカ:スウェーデン語でお茶の時間)
- 申 込 令和元年10月2日(水)午前9時から
窓口または電話で受付
- 申 込 先 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059

